社会福祉法人
祥風会

桜川保育園 だより

桜川保育園
〒300-0048 土浦市田中三丁目４番５号
【TEL】029-821-8341 【FAX】029-823-0390
【E-mail】sakuragawa@showfukai.com
【URL】https://showfukai.com/
【発行責任者】施設長　宇都野 和司
※掲載写真は、保護者の同意を得ています。



夏の風物詩「プール遊び」

笑顔と願いがいっぱい！
楽しい夏のひととき

今年の夏も暑い日が続きましたが、そんな暑さも子どもたちにとっては楽しい季節。「今日もプールに入れる！」と嬉しそうに水着に着替え、暑さを吹き飛ばすように、水と戯れながら元気いっぱいプール遊びを楽しみました。

初めは水に緊張していた子も、遊ぶうちに少しずつ慣れ、水しぶきを上げたり水をかけ合ったりと、思い思いに水遊びを満喫し、プールの周りには歓声が響きわたっていました。

また、今年も玄関前の両側に設置した笹竹に、「大きくなったら〇〇になりたい」など、子どもたちが夢や願いを込めて作った色とりどりの飾りや短冊を飾りました。７月８日の『七夕送り』では、空を見上げながら、子どもたちの夢や願いが天まで届くよう、みんなで心を込めて送りました。

子どもたちの笑顔とたくさんの願いがあふれた夏。楽しい遊びや季節の行事を通して、子どもたちは夏ならではの思い出をたくさん作ることができました。

これからも、さまざまな経験を重ねながら、元気いっぱいの笑顔で、健やかに成長してくれることを願っています。



願いを込めて「七夕送り」

ゆめ組　0歳児

入園してから半年が経ち、一人ひとりの園生活のリズムも安定してきました。保育者とのふれあいや温かな関わりを通して、安心した表情を見せたり、自分から遊びに向かったりする姿も増えてきています。

これからも、それぞれの気持ちや発達に寄り添いながら、さまざまな経験を重ねる中で興味や関心を広げ、心と体の成長を見守っていきたいと思います。

クラス目標

- 保育者とのアタッチメント（愛着形成）を基盤に、安心感の中で情緒の安定と発達を促す。
- 見る・触れる・聞くなどの楽しい経験を通して身近な環境への興味や関心を広げる。
- 見立て遊びを通して、保育者や友だちと一緒に遊ぶことで人と関わることの楽しさを感じる。

ふれあい遊びで「大好き」を感じて

日々のふれあい遊びでは、保育者が歌う「わらべ歌」や優しい声かけ、抱っこやスキンシップを通して、子どもたちとの信頼関係を深めています。

最近では、保育者が誘うだけでなく、子どもたちから保育者の膝に座りに来たり、ふれあい遊びを期待して笑顔を見せたりする姿も見られるようになりました。

これからも、子どもたちの表情や反応を丁寧に受け止め、保育者とのふれあいを通して、「一緒にいると安心する」「一緒に遊ぶと楽しい」という気持ちを育んでいきます。そして、心地よいやり取りを重ねる中で、安心感や情緒の安定を育み、愛着の形成へとつなげていきたいと思います。

見て・触れて・聞いて「ワクワク」を発見！

夏ならではの遊びとして、氷遊びやプール遊びを楽しみました。



氷遊びでは、初めて触れる冷たさに驚いた表情を見せながらも、そっと手を伸ばしたり、握ってみたりしながら、その感触を確かめて楽しむ姿が見られました。

プール遊びでは、両手を左右に動かしてバシャバシャと水しぶきを立てたり、水をつかもうと一生懸命に手を伸ばしたりするなど、水の冷たさや感触を全身で楽しみながら、興味や関心を広げています。

また、絵本の読み聞かせでは、保育者の声に耳を傾けながら絵本をじっと見つめ、集中して楽しむ姿も増えてきました。お気に入りの絵や気になるものを指差したり、保育者の声かけに反応して喃語や一語文を発したりと、自分なりに絵本の世界を楽しみながら、思いや興味を表現する姿も見られています。

このように、「見る・触れる・聞く」など、さまざまな経験を通して五感を刺激し、身近な環境への興味や関心を広げています。また、保育者との言葉のやり取りを楽しみながら、喃語や言葉で自分の思いを表現する力も育んでいきたいと思います。

遊びの中で広がるつながり✿

身近な玩具を使ったごっこ遊びでは、玩具を食べ物に見立てたり、保育者の真似をしたりしながら、それぞれが思い思いに遊ぶ姿が見られます。同じ玩具に興味をもって友だちと一緒に遊んだり、友だちの遊びをじっと見て真似してみたりするなど、少しずつ友だちの存在にも興味をもつようになってきました。

また、自分でビジーカーに乗ったり、お友だちが乗っているビジーカーを押してあげたりする姿が見られるようになり、「乗る人」「押す人」と自然に役割が生まれ、友だちと遊ぶ楽しさや相手とのやり取りを経験しています。















はな組　１歳児

１歳児は、「自分でやってみたい」という気持ちが少しずつ芽生え始める時期です。身近なものへの興味も広がり、保育者や友だちとの関わりの中で、言葉や仕草を通して自分の思いを伝えようとする姿が見られます。

「やってみたい！」がいっぱい♪

入園当初は保育者のそばで過ごすことが多かった子どもたちも、今では好きな遊びを見つけてのびのびと遊んだり、友だちの姿に興味を持ったりするなど、遊びの幅が広がってきました。気になる玩具を手に取ってじっくり楽しんだり、繰り返し遊ぶ中で自分なりの楽しみ方を見つけたりする姿も見られます。

身の回りのことにも関心を持つようになり、靴を履こうとしたり、食具を使って自分で食べようとしたりする姿が増えてきました。保育者に見守られながら、自分なりの方法でやってみようとする気持ちも育っています。うまくいかない時には、保育者に助けを求めたり、一緒に取り組んだりしながら、一人ひとりのペースで経験を重ねています。毎日の生活の中でできることが増え、「できた」と嬉しそうな表情を見せたり、保育者と喜びを分かち合ったりする経験が、自信につながっています。

また、友だちの名前を呼んだり、「かして」「どうぞ」など、言葉や仕草で思いを伝えたりする姿も見られるようになりました。友だちが遊んでいる様子を見て興味を持ち、真似してみたり、同じ遊びを楽しんだりする中で、友だちとの関わりも少しずつ広がっています。

これからも一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切にし、子どもたちに寄り添いながら、安心して挑戦できる環境を整えていきたいと思います。そして、たくさんの「できた」を一緒に喜びながら、それぞれのペースで成長していく子どもたちを温かく見守っていきたいと思います。





クラス目標

- 安心できる環境の中で、一人ひとりの気持ちを受け止めながら、のびのびと過ごす。
- 身の回りのことに興味を持ち、「自分でやってみよう」という気持ちを大切にする。
- 保育者や友だちとの関わりの中で、言葉や仕草で気持ちを表現し、やりとりを楽しむ。

はな組で流行中！
お気に入りの遊び　みーつけた！

最近のはな組では、「アンパンマンブロック」、「エプロン」や「カバン」を使った遊びが人気です。

「アンパンマンブロック」では、ブロックをつなげたり、高く積み上げたりしながら、思い思いに遊んでいます。友だちが遊んでいる様子を見て、同じように遊んでみようとする姿も見られます。

また、「エプロン」を身につけたり、「カバン」にお気に入りのおもちゃを詰めたりと、身近なものを使って遊ぶことも楽しんでいます。「カバン」を持って歩いたり、友だちと一緒に遊んだりする中で、子どもたちなりの遊び方がどんどん広がっています。









にじ組 2歳児

進級当初は一人でじっくりと遊ぶことが多かった子どもたちですが、友だちと一緒に「ごっこ遊び」や簡単なやり取りを楽しむ姿が見られるようになり、日々の成長を感じています。



「電車ごっこ」楽しいな♪

クラス目標

- 基本的な生活習慣を身につけ身の回りのことを自分でしようとする。
- 生活や遊びの中で、決まりや順番を待つことを覚える。
- 保育者や友だちとの関わりの中で、言葉のやりとりを楽しむ。

「できるようになったよ！」

２歳児は、「自分でやりたい！」という気持ちが大きく育つ時期です。毎日の生活の中でも、靴下を履いたり帽子をかぶったりする身支度に、自分から取り組もうとする姿が少しずつ増えてきました。以前は「せんせいやって」「手伝って」と保育者に頼ることが多かった子どもたちも、少しずつ自分でできることが増えるにつれ、「見ててね」「できたよ！」と、うれしそうに伝えてくれるようになりました。

一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切にし、必要なときには手を添えながら、これからも子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。



どれから入れようかな？

「大きくな～れ」朝顔栽培

今年で４年目となる、にじ組での朝顔の栽培は、昨年度に収穫した朝顔の黒くて小さな種を使いました。その種から花が咲くことがまだ想像できない様子でしたが、「大きくな～れ！」と声をかけながら水やりを続けると、数日後には小さな芽が出てきました。顔を近づけて興味津々に観察する姿が印象的でした。葉が次々と広がり、ツルも上へ上へと伸びて、あっという間に子どもたちの背丈を越えるほどに成長し、プール遊びが始まる頃には、強い日差しを和らげる涼しげなグリーンカーテンとなりました。青くきれいな花も咲き、朝顔の周りには、ダンゴムシやカエル、チョウなどが集まり、動植物への興味や愛着も育まれてきました。

最後は種を収穫し、来年度のにじ組へと引き継いでいきたいと思います。



▲朝、帰りの会では当番活動も！！

みんなでノリノリ♪

にじ組では、音楽に合わせて歌ったり踊ったりする遊戯を楽しんでいます。遊戯の時間になると、「ダイナソーがいい！」「マッチョマッチョ！」など、好きな曲をリクエストする姿が見られ、自分の「好き！」「やりたい！」という気持ちを、少しずつ言葉で伝えられるようになってきました。音楽が流れると、保育者の動きを真似しながら、手を叩いたりジャンプをしたりと、のびのびと体を動かしています。繰り返し楽しむ中で興味も少しずつ広がり、楽しそうに踊る友だちの姿を見て、一緒に体を動かしてみようとする姿も増えてきました。遊戯を通して、音楽の楽しさだけでなく、「やってみたい！」という気持ちを表現する喜びや、友だちと一緒に楽しむ心地よさも感じています。

これからも一人ひとりの気持ちを大切にしながら、音楽に親しみ、楽しく体を動かしていきたいと思います。



どんな花が咲くのかな？れ



いちばんマッチョは誰かな？？

子どもたちに大人気の遊戯や体操を紹介します！

- モリモリマッチョ
- ダイナソーな体操
- ちょっとだけ体操
- あいす de ちゅ♡
- かわいいさくらんぼ
- もったいないばあさん音頭
- へんしん！にんじゃじゃん

お家でもぜひやってみてください！



ほし組☆3歳児

子どもたちが安心して過ごせる環境の中で、「やってみたい！」という気持ちを大切にしながら、一人ひとりが自分で考え、行動する経験を積み重ねています。また、食事の挨拶の声掛けや布団敷き、野菜の水やり・収穫などの当番活動にも意欲的に取り組んでいます。

さらに、「今日は〇〇当番！」と楽しみにしながら、友だちの前で挨拶をしたり、お手伝いをしたりする中で、少しずつ自信を持って取り組む姿が見られるようになりました。自分の役割を最後まで頑張ることで、「自分でできた！」という達成感にもつながっています。

友だちとの関わりも少しずつ増え、「一緒に遊ぼう」「ありがとう」「ごめんね」など、思いを言葉で伝える姿が見られるようになってきました。「だるまさんがころんだ」「おおかみさん、今何時？」「イス取りゲーム」など、ルールのある遊びも楽しめるようになり、遊びの中で約束やルールを覚え、友だち同士で声をかけ合いながら、保育者がいない場でも子どもたちだけで遊びを進める姿も見られます。また、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じながら、相手を「意識」したり、「守ろう」としたりする気持ちも育っています。

これからも安心して自分を表現できる環境を大切にしながら、さまざまな経験を通して、「自分でやってみよう」とする気持ちや、友だちと一緒に楽しむ喜びを育んでいきたいと思います。







～クラス目標～

★安心して過ごせる環境の中で、自分でやろうとする気持ちを育てる。
★簡単な約束やルールを知り、守ろうとする気持ちを育てる。
★保育者や友だちと関わる中で、安心して自己表現をし、やりとりを楽しむ。

ミニトマトの栽培・収穫

春から育ててきたミニトマトがたくさん実りみんなでおいしく食べました！✨

❶苗を植えたよ

「おおきくなってね～！」と声をかけたり土の感触を楽しんだりしながら、優しく植えることができました☻



❷お世話をしたよ

『当番さん』を中心に毎日頑張った水やり！変化に気づきながら成長を楽しみました♪



❸収穫したよ

真っ赤に色づいたミニトマトをみんなで収穫しました。真剣な表情でハサミを握り、「とれた～！」と大喜びでした♪



❹食べてみたよ

「あまくておいしい！」「ちょっとすっぱいかも…」とそれぞれの味を楽しみながら、自分たちで育てた達成感を味わうことができました✨



“ごっこ遊び”を楽しんでいます✿



“お祭りごっこ”



“ジェットコースターごっこ”



“やってみたい！”の気持ちからごっこ遊びが広がり、役になりきって遊ぶ中で、想像力やコミュニケーション力、思いやりの気持ちも育っています。

つき組　4歳児



クラス目標

- 友だちや保育者とさまざまな遊びや活動に取り組むことで、一緒に活動することの喜びや楽しさを感じ、イメージを共有する。
- 相手の気持ちを考えて行動することや、みんなで過ごすための決まりを守る姿勢を育てる。

４歳児は『自分でやってみたい！』という意欲が強まり、友だちと協力しながら遊びを広げる時期です。言葉で気持ちを伝え、相手の思いにも気付き始め、社会性と自立の芽が育っていきます。

このような成長の過程を踏まえて、今年度は上に示すような２つのクラス目標を掲げて保育をスタートしました。



気持ちを伝えあう毎日

子どもたちの遊びの中で、ごっこ遊びが盛んになっています。「わたし店員さんね」「お客さんやる！」と役割を決めながらイメージを合わせ、友だちと物語をつくる楽しさを味わっています。役割が重なったときには、「じゃあ交代しよう」「次はわたしね」と話し合いながら調整する姿も見られ、友だちとの関わりが深まっていることが感じられます。

一方で、順番をめぐる気持ちの行き違いが起こることもあります。「先にやりたかったのに…」と涙が出る場面もありますが、保育者と一緒に気持ちを言葉にし、「どうしたいか」「どうしたらいいか」を友だちと話し合う経験を重ねることで、少しずつ気持ちの調整ができるようになってきました。困っている友だちに声をかける姿も増え、相手の気持ちに気づく優しさが育っています。

また、生活の中では、片付けや集まりの時間など、みんなで過ごすための決まりを守ろうとする姿も見られます。決まりを守ることで、安心して遊べることを理解し始めており、４歳児らしい、『やってみたい！』という気持ちも、大きくふくらんでいます。その意欲を大切にしながら、友だちと一緒に活動する楽しさや気持ちを伝え合う経験を積み重ねていけるよう、これからも保育を進めていきたいと思います。

おこめができたよ!!

つき組では、『米づくり』に取り組み、５月に田植えを行い、その後、水やりをしながら稲の成長を観察してきました。

子どもたちは、「緑色から黄色になったね」「つぶつぶがいっぱいついてる！」と、稲の変化を楽しみ、８月末には稲刈りをして、収穫の喜びを味わいました。

収穫した稲は精米し、秋頃には『おにぎり作り』を行う予定です。





おおきくなぁれ！

『食育』は、育てる過程そのものが学びにつながります。土に触れ、水をあげ、芽が出る喜びを友だちと共有しながら、植物が育つしくみや命の大切さを実感していきます。

毎日、世話を続ける中で、「大きくなってほしい」という気持ちが芽生え、変化に気づくまなざしも育っていきます。葉の色や背の高さ、実のつき方など、子どもたちは小さな変化を見つけては、嬉しそうに知らせてくれます。

こうした経験は、収穫への期待や食べることへの意欲にもつながり、自分たちで育てた野菜などに親しむ、大切な『食育』の一歩となっています。

そら組　5歳児



そら組の子どもたちは、虫や植物などの身近な自然に興味を持つようになり、見つけたものを友だちと一緒に観察したり、図鑑で調べたりする中で、植物の成長にも関心を広げていきました。そのような子どもたちの「育ててみたい！」という声を大切にし、野菜作りを始めました。

毎日の水やりでは、「葉っぱが大きくなった！」などと野菜の変化に気付き、友だちと一緒に成長を喜ぶ姿が見られました。収穫した野菜を実際に食べ、「おいしかった！」と自分たちで育てた野菜を味わう喜びを感じることができました。

育てた野菜でピザ作り

ピザ作りに向けて、必要な材料をみんなで考え、買い物にも出かけました。「これが必要だよ！」「お金はいくらかな？」と友だちと相談しながら商品を選び、実際にお金を支払うことで、買い物の仕方やルールについても学ぶことができました。



どこにあるかな～？

ピザ作り当日は、生地を伸ばしたり、具材を切ったり、トッピングをしたりと、それぞれが役割を持って取り組み、「これ、一緒にやろう」と声を掛け合いながら、友だちと協力してグループでピザを完成させました。

ピザ窯で焼いている様子を見ながら期待を膨らませ、焼き上がったピザを食べてみると、「おいしい！」と大喜びでした。野菜を育てるところから、収穫、買い物、調理、そして食べるところまで、これまでの経験をつなげながら活動することで、友だちと力を合わせて一つのことをやり遂げる喜びを感じることができました。

トッピングしたら完成～♫





具だくさん
焼き立てピザ♫

クラス目標

- さまざまな経験を通して、友だちと協力することの楽しさ、一つの事を達成する喜びを味わう。
- 相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちを伝えることができるようになる。
- 自分で考えて取り組む力を身につけ、さまざまなことに挑戦していく。
- 生活の中で、時間の見通しを立てて行動できるようになる。

プランターで

じゃがいも作りにも挑戦したよ★

春、大きめのプランターに種芋を植え、「芽はまだかな？」と毎日楽しみに観察していました。

水やりは当番制で行い、張り切って世話をする中で、葉の色や背の高さの変化にも気付き、「大きくなってるね」と成長を喜ぶ姿が見られました。紫色の花が咲くと歓声が上がり、収穫への期待もますます膨らみました。

収穫の日には、宝探しのように「まだある！」「大きいの見つけた！」と興奮気味に土の中から次々とじゃがいもを掘り出し、158 個という予想以上の豊作に達成感を味わっていました。

収穫したじゃがいもはふかし芋にして塩を振り、おいしく味わいました。自分たちで育て、収穫したじゃがいもを食べることで、育てる楽しさや収穫の喜び、食べることの楽しさを感じることができました。





できたてホクホク
ふかし芋✨

フォト・コーナー

ゆめ組　０歳児















はな組　１歳児

















にじ組　２歳児

















ほし組　3歳児















つき組　4歳児















そら組　5歳児















子どもの命を守る「救急講習会」

～いざという時に備えて～

子どもたちの安全を守るためには、日頃からの備えと、いざという時に落ち着いて行動することが大切です。

桜川保育園では、これまで毎年、子どもたちの安全を守るため、全職員を対象に「救急講習会」を実施してきました。

今年度は、受講対象を広げ、園だけでなく家庭においても緊急時に適切な対応ができるよう、「保護者参加型救急講習会」を７月４日（土）に開催しました。

職員25名、保護者12名が参加した講習では、子どもの事故やけがが起きた際の対応について学んだほか、ＡＥＤの使用方法や心肺蘇生法などを実際に体験し、緊急時の対応について理解を深める機会となりました。



▲直接圧迫止血法
（傷口直接圧迫措置）



▲心肺蘇生法【ＣＰＲ】
（胸骨圧迫救命措置）



▲胸部突き上げ法（乳児異物除去①）



▲背部殴打法（乳児異物除去②）

参加者の声









つき組（３歳児）保護者　奥山　夏美さん

一次救命処置や止血法、誤飲時の対応について学び、いざという時に自分がどのように行動すべきかを改めて確認することができました。

実技を体験しながら質問できたことで、より理解が深まり、実践的な知識として身に付けることができたと感じています。

先生方が毎年このような講習を受けていることも知り、とても心強く、安心して子どもをお願いできると感じました。一人でも多くの人が救急時の対応を学ぶことが、尊い命を救うことにつながると思います。

今後も機会があれば、ぜひ参加したいです。

にじ組（２歳児）保護者　君嶋　理沙さん

講習会で学んだことをきっかけに、帰宅後、勤務先のビルや普段利用する商業施設、駅などのＡＥＤの設置場所を確認しました。また、窒息時の対応について家族とも共有し、万が一に備える大切さを実感しました。

身の回りのさまざまなものが誤飲や窒息につながる可能性があることも知り、日頃から注意することの大切さを実践的に学ぶことができ、たいへん貴重な経験となりました。

はな２組（１歳児）保護者　岩館　千佳さん

ＡＥＤの模型や人形を使って実際に訓練できたことは、とても貴重な経験でした。先生方や保護者自身が実技を行う時間も多く、実践的で分かりやすい内容だったため、いざという時の対応を具体的にイメージすることができました。

また、預かり保育をしていただいたので、小さな子どもがいても学びの機会を得られたことに感謝しています。

はな２組（１歳児）保護者　阪中　彩乃さん

心肺蘇生法や誤飲時の対応は、「知識として知っている」ことと「実際にやってみる」ことでは大きな違いがあり、実践することで初めて分かることや身につくことがたくさんあると感じました。

今回の講習で、家族に万が一のことがあった時だけでなく、外出先で助けを必要としている方にも行動できる経験を積むことができました。実際に体験することの大切さを実感し、参加して本当に良かったと思います。